



TOKYO

JTUC DRIVERS CRAFT UNION

発行人
新産別運転者労働組合
(略称・新運転)
編集兼発行人 太田 武二
〒110-0003
東京都台東区根岸3-25-6
TEL 03-5603-1300
FAX 03-5603-5300
mail: sinunten@sinunten.or.jp



参議院選挙！ もりやたかし候補議席獲得！

今回の参院選は、第2次政権発足から6年半におよぶ「安倍政治」を総括する選挙だった。しかし、依然として隠されたままのモリカケ問題は元より、公示前の公的年金以外の2000万円問題、消

費増税、アベノミクスの評価などがマスメディアによって消されたまま盛り上がり、選挙だった感じが強かった。従って、戦後2番目という50%を切る低投票率で自公両党が早々と改選過半数の議席を獲得し、安倍首相は引き続き「1強体制」を維持し、大手メディアは事前予想通りに安倍政権の勝利をぶち上げた。

にも拘らず我々は、今回の選挙結果は、安倍改憲阻止・自公政権打倒への一歩

を踏み出した開いたと評価したい。まずは、交運労協が推薦し、我々も重点候補者として支援した私鉄総連組織内候補の「もりやたかし」氏が立憲民主党比例第5位で見事に当選を果たしたことが、今後運輸産業の政治的諸問題解決に当たって頑張ってくれるものと大いに期待したい。

次に、辺野古新基地建設を沖縄御万人(民衆)の度重なる反対の意思表示を無視して強行する安倍政権に對して、2014年の翁長前知事選挙の勝利から今回の高良候補の勝利で9回連続国政選挙で勝利し安倍政権の敗北となった。

そして、山本太郎の「れいわ新選組」が2名当選、222万票を得て政党要件を獲得したことが、更に党の存亡がかかるとした社民党も沖縄選出の仲村みお氏の健闘と吉田前党首が議席を得て政党要件の2%を上回った。

この一方で、再確認すべきは自民党の敗北である。自民党が激戦区に指定し、安倍首相が2度も応援に入った選挙区で負け越した結果、自民党過半数割れ、改憲発議可能3分の2割れ、そして前回比例票から240万票減の9議席減が真実の選挙結果だったのだ。

労供労連第17回総会！ 労供拡充と参議院選挙勝利を決定！



折井洋之会長

去る6月9日、品川区南部労政会館で構成員42名の参加の下、第17回総会が開かれた。松居副会長の司会挨拶の後、総会議長に嶋澤城代議員(新運転東京)が選任された。その後、総会書記に田中浩(新運転滋賀)、資格審査・議事運営委員に代議員から井川浩(自運労)、樋口浩(新運転)、執行部から楠真一郎(新運転)、役員選考委員には執行部より白土武裕(新運転)、山口喜代重(自運労)が選任された。

そして、冒頭に折井会長から「労供事業の問題が、解の元に厚労省の問題があり、これを是正して労働組合が選任された。」と挨拶があった。

続いて、中央交運労協の高松伸幸事務局長から大きな自然災害と交通運輸業務に従事する組合員と企業活動にふれ、「改めて被災された方へのお見舞いと早期復興を願う」として、少子高齢化と人口減少による運動不足、AIを活用した自動運転、長時間労働と残業規制など運輸産業に係る働き方改革との関係で良い意味での改革を進めていきたい」という趣旨の挨拶があった。そして、私鉄総連の宮崎功一政治政策局長

からは「この5年間、全国の皆様を訪問し、一人ひとりの声に耳を傾けて国政で訴えていく準備をしてきた。参議院選挙では私鉄総連が先頭に立って汗をかくことを約束し労供労連の支援をお願いしたい。」との要請を受けた。ご来賓の皆様にも祝電メッセージが紹介され、議事に入った。

まず、2018年度経過報告と会計報告が太田事務局長、会計監査報告が佐々木会計監査、続いて活動総括と2019年度方針案が太田事務局長からなされた。議長から各議案毎に採決を求め、全会一致で承認された。

続いて役員改選に移り、白土(新運転)役選委員長

を踏み出した開いたと評価したい。まずは、交運労協が推薦し、我々も重点候補者として支援した私鉄総連組織内候補の「もりやたかし」氏が立憲民主党比例第5位で見事に当選を果たしたことが、今後運輸産業の政治的諸問題解決に当たって頑張ってくれるものと大いに期待したい。

次に、辺野古新基地建設を沖縄御万人(民衆)の度重なる反対の意思表示を無視して強行する安倍政権に對して、2014年の翁長前知事選挙の勝利から今回の高良候補の勝利で9回連続国政選挙で勝利し安倍政権の敗北となった。

そして、山本太郎の「れいわ新選組」が2名当選、222万票を得て政党要件を獲得したことが、更に党の存亡がかかるとした社民党も沖縄選出の仲村みお氏の健闘と吉田前党首が議席を得て政党要件の2%を上回った。

この一方で、再確認すべきは自民党の敗北である。自民党が激戦区に指定し、安倍首相が2度も応援に入った選挙区で負け越した結果、自民党過半数割れ、改憲発議可能3分の2割れ、そして前回比例票から240万票減の9議席減が真実の選挙結果だったのだ。

そして、山本太郎の「れいわ新選組」が2名当選、222万票を得て政党要件を獲得したことが、更に党の存亡がかかるとした社民党も沖縄選出の仲村みお氏の健闘と吉田前党首が議席を得て政党要件の2%を上回った。

この一方で、再確認すべきは自民党の敗北である。自民党が激戦区に指定し、安倍首相が2度も応援に入った選挙区で負け越した結果、自民党過半数割れ、改憲発議可能3分の2割れ、そして前回比例票から240万票減の9議席減が真実の選挙結果だったのだ。

そして、山本太郎の「れいわ新選組」が2名当選、222万票を得て政党要件を獲得したことが、更に党の存亡がかかるとした社民党も沖縄選出の仲村みお氏の健闘と吉田前党首が議席を得て政党要件の2%を上回った。

そして、山本太郎の「れいわ新選組」が2名当選、222万票を得て政党要件を獲得したことが、更に党の存亡がかかるとした社民党も沖縄選出の仲村みお氏の健闘と吉田前党首が議席を得て政党要件の2%を上回った。

続いて、中央交運労協の高松伸幸事務局長から大きな自然災害と交通運輸業務に従事する組合員と企業活動にふれ、「改めて被災された方へのお見舞いと早期復興を願う」として、少子高齢化と人口減少による運動不足、AIを活用した自動運転、長時間労働と残業規制など運輸産業に係る働き方改革との関係で良い意味での改革を進めていきたい」という趣旨の挨拶があった。そして、私鉄総連の宮崎功一政治政策局長

からは「この5年間、全国の皆様を訪問し、一人ひとりの声に耳を傾けて国政で訴えていく準備をしてきた。参議院選挙では私鉄総連が先頭に立って汗をかくことを約束し労供労連の支援をお願いしたい。」との要請を受けた。ご来賓の皆様にも祝電メッセージが紹介され、議事に入った。

まず、2018年度経過報告と会計報告が太田事務局長、会計監査報告が佐々木会計監査、続いて活動総括と2019年度方針案が太田事務局長からなされた。議長から各議案毎に採決を求め、全会一致で承認された。

続いて役員改選に移り、白土(新運転)役選委員長

を踏み出した開いたと評価したい。まずは、交運労協が推薦し、我々も重点候補者として支援した私鉄総連組織内候補の「もりやたかし」氏が立憲民主党比例第5位で見事に当選を果たしたことが、今後運輸産業の政治的諸問題解決に当たって頑張ってくれるものと大いに期待したい。

次に、辺野古新基地建設を沖縄御万人(民衆)の度重なる反対の意思表示を無視して強行する安倍政権に對して、2014年の翁長前知事選挙の勝利から今回の高良候補の勝利で9回連続国政選挙で勝利し安倍政権の敗北となった。

そして、山本太郎の「れいわ新選組」が2名当選、222万票を得て政党要件を獲得したことが、更に党の存亡がかかるとした社民党も沖縄選出の仲村みお氏の健闘と吉田前党首が議席を得て政党要件の2%を上回った。

そして、山本太郎の「れいわ新選組」が2名当選、222万票を得て政党要件を獲得したことが、更に党の存亡がかかるとした社民党も沖縄選出の仲村みお氏の健闘と吉田前党首が議席を得て政党要件の2%を上回った。

続いて、中央交運労協の高松伸幸事務局長から大きな自然災害と交通運輸業務に従事する組合員と企業活動にふれ、「改めて被災された方へのお見舞いと早期復興を願う」として、少子高齢化と人口減少による運動不足、AIを活用した自動運転、長時間労働と残業規制など運輸産業に係る働き方改革との関係で良い意味での改革を進めていきたい」という趣旨の挨拶があった。そして、私鉄総連の宮崎功一政治政策局長

からは「この5年間、全国の皆様を訪問し、一人ひとりの声に耳を傾けて国政で訴えていく準備をしてきた。参議院選挙では私鉄総連が先頭に立って汗をかくことを約束し労供労連の支援をお願いしたい。」との要請を受けた。ご来賓の皆様にも祝電メッセージが紹介され、議事に入った。

まず、2018年度経過報告と会計報告が太田事務局長、会計監査報告が佐々木会計監査、続いて活動総括と2019年度方針案が太田事務局長からなされた。議長から各議案毎に採決を求め、全会一致で承認された。

続いて役員改選に移り、白土(新運転)役選委員長

を踏み出した開いたと評価したい。まずは、交運労協が推薦し、我々も重点候補者として支援した私鉄総連組織内候補の「もりやたかし」氏が立憲民主党比例第5位で見事に当選を果たしたことが、今後運輸産業の政治的諸問題解決に当たって頑張ってくれるものと大いに期待したい。

次に、辺野古新基地建設を沖縄御万人(民衆)の度重なる反対の意思表示を無視して強行する安倍政権に對して、2014年の翁長前知事選挙の勝利から今回の高良候補の勝利で9回連続国政選挙で勝利し安倍政権の敗北となった。

そして、山本太郎の「れいわ新選組」が2名当選、222万票を得て政党要件を獲得したことが、更に党の存亡がかかるとした社民党も沖縄選出の仲村みお氏の健闘と吉田前党首が議席を得て政党要件の2%を上回った。

そして、山本太郎の「れいわ新選組」が2名当選、222万票を得て政党要件を獲得したことが、更に党の存亡がかかるとした社民党も沖縄選出の仲村みお氏の健闘と吉田前党首が議席を得て政党要件の2%を上回った。

労供労連役員一覧	
会長	玉垣洋一 自運労
会長代行	折井洋之 新運転
副会長	松井純一郎 自運労
事務局長	白土武裕 新運転
事務局長	太田武二 新運転
事務局次長	三好雅之 自運労
執行委員	竹生清 〃
〃	山口喜代重 〃
〃	楠真一郎 新運転
〃	田丸春吉 神奈川人材
〃	田中浩 新運転
〃	山影徹 全運労
〃	川村勝 新運転
〃	浦田司 〃
〃	高安邦彦 自運労
〃	朝倉哲男 〃
〃	佐々木克己 新運転
会計監査	〃

より当初確認通り、新運転と自運労で総会ごと役員が交代する形で新役員が紹介され全会一致で承認された。(別紙掲載)

その意味で、設立から10年を超えた非正規労働センターの「職場から始めよう」運動の蓄積を地域の様々な見ず知らずの人々との出会いを求めて新しい運動を起そうではありませんか。「同質の協力は和にしかならず、異質の協力は積になる」も大事な運動の原則だと思

「V・全体について」
1000万人連合の達成に不可欠な取り組みとして労働組合の労供事業を提案します。嘗ての連合評価委員会の答申の柱の一つである「企業別組合主義から脱却し、すべての働く者が結集できる新組織戦略」を実現するために「I・II」で提案した「構成組織、地域協議会の規約を改正して「労供事業部」を作って労供事業に取り組みむことだと思

に籍を置いている役員の場合は、企業に戻るか定年後に労働者自身福祉運動へ転身する方もいると思います。しかし、一般の企業内労組では文字通り退職イコール組合脱退となっている現実を変えるために労働組合の労働事業の出番だと思

最後に、こうした労供労連の法的存在は、職安法の4条と55条を基にしています。1947年の敗戦直後に成立した職安法は、第44条で(供給先)が(労働者)を直接指揮命令して使用しながら、労働契約を結ばない法的な使用者責任を負わないという労供事業を禁止した一方で、労働組合だけに許可を与えたことの意味を労働組合運動として再評価すべきだと強く思

またと思

またと思

またと思

またと思

またと思

またと思

またと思

各地本だより

埼玉本

待ち遠しかった梅雨明けもようやく迫ってきたが、連日の雨、記録的な日照不足に低温。天候に左右される生コンにとって今年は本当に長い梅雨であったように感じられます。梅雨明けと同時に酷暑の予報も出ており、組合員の皆様方には熱中症対策を完全に体調管理に気を付けて日々の就労にあたってくださいます。

また、先の参院選においては、われわれが推薦した「もりやたかし」氏の当選を勝ち取ることができました。今後われわれ交通運輸で働くものの声を国政へ必ず届けていただけるものと期待しています。

東北本

新運転結成 60周年の前半戦、春の統一自治体選挙では選挙カーの運転、ポスター張り、スティング、ポスター張り、選挙ハガキなど東京地本が始まって以来の選挙活動に取り組み、多くの推薦候補者の当選を勝ち取った。

そして、締めくくりとしての参議院選挙が終わった。「もりやたかし」候補者が立憲民主党比例選挙で5位当選を果たし、私鉄総連として4期参議院議員を務めた湖上真雄氏以来の勝利だった。今後の交通運輸行政のかじ取り役としての活躍を期待したい。

また、60周年の特筆すべき取り組みとして実施したのが、連合沖縄平和行動と辺野古新基地建設阻止行動

高年齢者対策を実施するよう事業所の方からも声が出始めており、本年度より対象の組合員に対する適齢検査の実施を行い、その検査結果をもとに高年齢組合員への指導をしていくことや、賃金・労働条件の向上を以って魅力あるものとしながら組織拡大を図っていくとした運動方針などが、全会一致で承認された盛會裡に終了いたしました。

また、本大会は中間大会賜り、参議院選挙前の情勢、関西地本の現況も含め埼玉地本への力強い連帯の挨拶をいただきました。

このところ高年齢者が引き起こす重大事故が毎日のように報道されており、70歳を超える高年齢の組合員が全体の4分の1となっている埼玉の現状から、お願いたします。

最後に労供概況ですが、新規加入の組合員も順調に伸びており未供給はほぼ無くなっております。梅雨も明け、これから益に向けての駆け込み需要も予想される中、やはり引き続き組織拡大に取り組み、今後も未供給が発生しないようにしなくてはならないと思っております。

執行委員長 折井洋之

滋賀本

7月後半に入ってやっと梅雨が明けそうな気配です。偏西風蛇行の原因で世界各地の異常気象が報道されているが、我が国で参議院選挙が行われたが、

梅雨も明け、日本列島は猛暑モードに突入した。先の参議院選挙の結果を総括すると、新運転が推薦した立憲民主党より、本人は全く見えなかつたとい、まさに魔がさしたとしか考えられない事故だった。その後、本人の深い反省は元より当該職場支部、執行委員会での議論を重ね、東京地本全体としても反省と再発防止を誓いあつてきた。その具体策の一つとして7月最終日曜日の午後緊急交通安全集会を開催し、当該支部の7割方約350名の組合員が結集した。梅雨明けの強い日差しの下、会場入りする組合員の団結力に感動を覚え、開会挨拶では60周年の今年こそ原点、初心に立ち返り無事故・安全作業の徹底を訴えた。

執行委員長 太田武二

関西本

戦後2番目の低投票率と報道されている。各党派の組織票だけの投票で一般の人は殆ど浸透してないのだからと思いたくなる。野党的な豪雨も気になる所であり、ひとり一人が命を守る行動に注意しなければならぬ時代なのかも。

さて、米国と中国の貿易戦争は長引きそうな雲行のなか、米国とイランも双方の無人偵察機を撃墜するなど、急速にきな臭くなっている。日本にとっては米国の提唱する有志国連合への加盟問題も頭が痛いところだろう。

ところで、日本国内では一般自衛隊関係への就労者が窓口に帰ってくるのであるが、今年ほとんどが就労したままで、各支部の担当者も運転者の配車に四苦八苦している。

また、協約改訂交渉も順調で、1000円の賃上げ要求に対し、経営側は概ね理解しており、順次、協約の締結をしている。更に特別健康保険を適用せず、日雇い雇用保険印紙のみの事業所に対しても、適用することでも会社側の負担が増えるが、両印紙で就労する組合員が就労可能となり供給要請の未供給が改善されるメリットを説明し、適用に向け取りくむ事業者も出始めた。いずれにせよ募集に応じる求職者の年齢層が40から50歳台と高いこと、仕事内容を習得する時間が掛かることから運転者の確保が喫緊の課題である。

執行委員長 白土武裕

戦後2番目の低投票率と報道されている。各党派の組織票だけの投票で一般の人は殆ど浸透してないのだからと思いたくなる。野党的な豪雨も気になる所であり、ひとり一人が命を守る行動に注意しなければならぬ時代なのかも。

さて、米国と中国の貿易戦争は長引きそうな雲行のなか、米国とイランも双方の無人偵察機を撃墜するなど、急速にきな臭くなっている。日本にとっては米国の提唱する有志国連合への加盟問題も頭が痛いところだろう。

ところで、日本国内では一般自衛隊関係への就労者が窓口に帰ってくるのであるが、今年ほとんどが就労したままで、各支部の担当者も運転者の配車に四苦八苦している。

また、協約改訂交渉も順調で、1000円の賃上げ要求に対し、経営側は概ね理解しており、順次、協約の締結をしている。更に特別健康保険を適用せず、日雇い雇用保険印紙のみの事業所に対しても、適用することでも会社側の負担が増えるが、両印紙で就労する組合員が就労可能となり供給要請の未供給が改善されるメリットを説明し、適用に向け取りくむ事業者も出始めた。いずれにせよ募集に応じる求職者の年齢層が40から50歳台と高いこと、仕事内容を習得する時間が掛かることから運転者の確保が喫緊の課題である。

執行委員長 白土武裕

係は相変わらず人員不足で体調不良を訴える組合員もあり、関西地本京都支部からの応援で対応しているものの、需要に追いつけないのが現状です。

最後になりますが、いよいよ酷暑の夏が始まりました。熱中症や食中毒など健康維持に注意して頑張りましょう。

「暑中お見舞い申し上げます」
書記長 田中 浩

△世界から注目▽
4月25日、プーチンと金正恩とが、突如、首脳会談を行ったことで、世界の注目を集めたウラジオストクであるが、私がウラジオ行きを決めたのは、2月のことで、全く関係ない。

しかし、金正恩委員長のウラジオ入りは、物々しい十数輦運んだ列車だったことは日本のテレビなどでも報じられた通り、ご本人はご機嫌だったようだが、ウラジオ市民は迷惑を被ったとどまるようお達しがあつたという。社会主義の国ならではのこだわり。

実は、ロシア旅行は3回目である。未踏の国があるうちは、2度以上同じ国に行かないことを建て前として

ZENROSAI NEWS

「こくみん共済 coop」とは、「こくみん みんなのために、共済というたすけあいの仕組みを提供する、協同組合 (coop) である」とを表明しました。

本年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ

全労済 こくみん共済

△浦塩斬断▽
強いて当て字を探した訳ではない。広辞苑にこう標記されている。戦前、樺太などを含めて、わが国と交流があつたからかも知れない。それ程近い。我々の意識では、そんなに近いとは思っていないが、改めて地図を見ると、本当に近いのである。

△斜張橋が美しい▽
幾つかの大きな島があり、その間に巨大な斜張橋が架けられている(ルースキー島への世界最長を含む)。初めて見るとほれぼれする。民間航空会社。3時間と言ふのは、羽田から石垣島の国内便より短いのである。初めてのロシア旅行は、2001年、新潟を立ち、ハバロフスクからイルクーツクまで、2泊3日のシベリア鉄道の旅だった。これは、なかなか他では経験出来ない面白い旅だった。金正日総書記(当時)がモスクワへ行った帰りの列車(先導の機関車2両に続き10輛以上の編成)と行き合いい、とある小さな駅で通過待ちと相成つたり(複数区間なのに)、孫を連れたロシア語しか話さない車輛係との交流があつたり、今思い出しても面白い(詳細はこのシリーズ04)。

2度目は、これは極くオーソドックスな、モスクワ、サンクトペテルブルク、スズダリ等中世の古都の環を回った。クレムリン、赤の広場、エルミタージュ美術館等である。広いロシアのこと、重複した感じはない。

全体に小綺麗な街という印象を持った。よい季節で、東京と余り変わらない陽気が、10メートルもの厚い氷に覆われるという。人々はその上を行き交い、穴を開けて魚を釣るそうなの。ウラジオのみならず、ハバロフスクでも同じだが、街を走っている車は、ほとんどが日本車と云つて良い。右側通行だからハンドルが良からうと思うが、圧倒的に日本車が多い。わずかにドイツ車も走っていたが、韓国車を見掛けることはほとんどなかった。日本車の品質に対する信頼は絶対的なものがあるようで、中でも、トヨタが多いが、ホンダ、日産、マツダ、スズキなど、すべての車種を見掛けた。基本的には中古車、現地で塗装し直されているそう。

